

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 平成24年2月14日

【四半期会計期間】 第40期第3四半期(自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)

【会社名】 イフジ産業株式会社

【英訳名】 Ifuji Sangyo Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤井 徳夫

【本店の所在の場所】 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200番地の1

【電話番号】 092-938-4561 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【最寄りの連絡場所】 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200番地の1

【電話番号】 092-938-4561 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)
証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第3四半期 連結累計期間	第40期 第3四半期 連結累計期間	第39期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	8,858,703	8,333,201	11,742,521
経常利益 (千円)	627,488	637,637	712,948
四半期(当期)純利益 (千円)	413,802	320,641	282,592
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	412,469	318,177	281,524
純資産額 (千円)	3,146,735	3,233,932	3,015,790
総資産額 (千円)	8,292,215	8,226,772	7,876,889
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	74.48	57.71	50.86
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	37.9	39.3	38.3

回次	第39期 第3四半期 連結会計期間	第40期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日
1株当たり四半期 純利益金額 (円)	23.32	30.93

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第39期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等または、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

なお、当第3四半期連結累計期間は、「第4 経理の状況」において、四半期連結キャッシュ・フローを作成していないため、キャッシュ・フローの状況に関する分析・検討内容は記載しておりません。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が残る中で、欧州の債務危機やタイの洪水被害が発生し、企業の生産活動や輸出に影響が出るなど、厳しい状況のまま推移しました。

食品業界におきましては、雇用情勢・所得が依然として低迷していることから、個人消費が低調に推移し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は鶏卵関連事業における販売数量の減少等により前年同期比5.9%減の8,333百万円となりました。

損益面につきましては、原料の仕入体制の見直しや生産体制の見直しを行ったことにより、営業利益は前年同期比0.7%増の625百万円、経常利益は同1.6%増の637百万円となりました。四半期純利益は、鶏卵関連事業において、東日本大震災により関東工場が被災し全面復旧するまでに1ヶ月以上を要したため、災害による損失(特別損失)を57百万円計上したこと等により、前年同期比22.5%減の320百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、主に東日本大震災の影響により販売数量が前年同期比8.6%減少しました。売上高につきましては、販売数量の減少等により、液卵売上高は前年同期比3.8%減の6,850百万円となりました。また加工品売上高は同1.3%減の343百万円、その他売上高は鶏卵販売の減少等により同56.1%減の172百万円となりました。この結果、合計売上高は同6.3%減の7,365百万円となりました。

損益面につきましては、販売数量や鶏卵相場の動向から原料の仕入体制の見直しや生産体制の見直しを行ったことにより、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益(営業利益)は前年同期比11.0%増の534百万円となりました。

調味料関連事業

当セグメントにおきましては、東日本大震災の影響によるカップめんや即席めんの需要の増加で主力製品である顆粒や粉末調味料の販売が増加したものの、前年に比べ新規商品の採用が減少したことから売上高は前年同期比3.3%減の952百万円となりました。

損益面につきましては、上記のように売上高が減少したことや、工場の改修工事、品質向上のための設備投資を行ったこと等により、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益(営業利益)は前年同期比37.2%減の83百万円となりました。

その他

当セグメントにおきましては、主に不動産賃貸業であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.2%減の14百万円、セグメント利益(営業利益)は同22.9%増の7百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は8,226百万円となり、前連結会計年度末に比べて349百万円増加しました。

流動資産は4,077百万円となり前連結会計年度末に比べ528百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加336百万円、商品及び製品の増加379百万円、原材料及び貯蔵品の増加74百万円、現金及び預金の減少79百万円、未収還付法人税等の減少130百万円等によるものであります。

固定資産は4,149百万円となり前連結会計年度末に比べ179百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少80百万円、機械装置及び運搬具の減少83百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,992百万円となり、前連結会計年度末に比べて131百万円増加しました。

流動負債は2,891百万円となり前連結会計年度末に比べ352百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加166百万円、未払法人税等の増加177百万円、短期借入金の増加35百万円、災害損失引当金の減少97百万円等によるものであります。

固定負債は2,101百万円となり前連結会計年度末に比べ220百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少192百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は3,233百万円となり、前連結会計年度末に比べて218百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加220百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.3%から39.3%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は90百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,792,000
計	16,792,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 未現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,563,580	5,563,580	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	5,563,580	5,563,580		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日		5,563,580		455,850		366,322

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式5,550,600	55,506	
単元未満株式	普通株式 5,580		
発行済株式総数	5,563,580		
総株主の議決権		55,506	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式67株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) イフジ産業株式会社	福岡県糟屋郡粕屋町 大字戸原200番地の1	7,400		7,400	0.13
計		7,400		7,400	0.13

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,052,505	973,412
受取手形及び売掛金	1,645,177	1,981,259
商品及び製品	317,562	697,510
仕掛品	26,500	30,124
原材料及び貯蔵品	256,371	331,107
未収還付法人税等	130,441	-
繰延税金資産	64,595	50,141
その他	70,516	31,538
貸倒引当金	15,081	17,579
流動資産合計	3,548,589	4,077,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,352,102	1,271,240
機械装置及び運搬具（純額）	473,509	390,193
土地	2,197,228	2,212,829
その他（純額）	22,690	18,201
有形固定資産合計	4,045,530	3,892,465
無形固定資産		
投資その他の資産	22,487	16,946
投資有価証券	39,462	37,886
繰延税金資産	196,768	171,078
その他	55,769	60,102
貸倒引当金	31,718	29,220
投資その他の資産合計	260,281	239,846
固定資産合計	4,328,300	4,149,258
資産合計	7,876,889	8,226,772

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540,188	706,721
短期借入金	1,312,236	1,347,441
未払法人税等	441	177,616
未払消費税等	6,720	5,796
賞与引当金	65,166	33,137
役員賞与引当金	-	17,812
災害損失引当金	261,000	163,860
その他	353,241	438,886
流動負債合計	2,538,994	2,891,272
固定負債		
長期借入金	1,652,602	1,460,053
役員退職慰労引当金	523,485	517,860
負ののれん	90,849	72,679
繰延税金負債	32,846	28,809
その他	22,322	22,164
固定負債合計	2,322,105	2,101,567
負債合計	4,861,099	4,992,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,850	455,850
資本剰余金	366,322	366,322
利益剰余金	2,216,292	2,436,922
自己株式	4,340	4,364
株主資本合計	3,034,123	3,254,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,333	20,796
その他の包括利益累計額合計	18,333	20,796
純資産合計	3,015,790	3,233,932
負債純資産合計	7,876,889	8,226,772

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	8,858,703	8,333,201
売上原価	7,107,624	6,606,594
売上総利益	1,751,078	1,726,606
販売費及び一般管理費	1,129,787	1,100,826
営業利益	621,291	625,780
営業外収益		
受取利息	635	87
受取配当金	538	641
受取賃貸料	5,671	3,471
負ののれん償却額	18,169	18,169
その他	7,390	10,536
営業外収益合計	32,406	32,907
営業外費用		
支払利息	23,883	21,050
その他	2,325	0
営業外費用合計	26,208	21,050
経常利益	627,488	637,637
特別利益		
投資有価証券売却益	266	-
受取保険金	15,000	-
特別利益合計	15,266	-
特別損失		
固定資産除売却損	401	44
投資有価証券評価損	2,661	-
役員退職慰労引当金繰入額	16,804	-
災害による損失	-	57,670
特別損失合計	19,866	57,714
税金等調整前四半期純利益	622,888	579,922
法人税、住民税及び事業税	170,750	222,711
法人税等調整額	38,336	36,570
法人税等合計	209,086	259,281
少数株主損益調整前四半期純利益	413,802	320,641
少数株主利益	-	-
四半期純利益	413,802	320,641

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	413,802	320,641
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,332	2,463
その他の包括利益合計	1,332	2,463
四半期包括利益	412,469	318,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	412,469	318,177
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
受取手形		33,675千円
支払手形		13,707千円
設備関係支払手形		8,925千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費	185,235千円	192,856千円
負ののれんの償却額	18,169千円	18,169千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	122,236	22	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	100,011	18	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,857,931	985,340	8,843,271	15,431	8,858,703
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	7,857,931	985,340	8,843,271	15,431	8,858,703
セグメント利益	481,413	133,531	614,945	6,346	621,291

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	614,945
「その他」の区分の利益	6,346
四半期連結損益計算書の営業利益	621,291

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,365,957	952,458	8,318,416	14,785	8,333,201
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	7,365,957	952,458	8,318,416	14,785	8,333,201
セグメント利益	534,140	83,843	617,984	7,796	625,780

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	617,984
「その他」の区分の利益	7,796
四半期連結損益計算書の営業利益	625,780

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	74円48銭	57円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	413,802	320,641
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	413,802	320,641
普通株式の期中平均株式数(株)	5,556,191	5,556,142

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 2月13日

イフジ産業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 福岡 典昭 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 只隈 洋一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイフジ産業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イフジ産業株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。